

プログラム⑥ キャッチフレーズをつくろう

ねらい

- 考えを整理したりアイデアを可視化・共有したりする方法として活用できるシンキングツールについて知る。
- 考え方を広げ、整理し、絞りこみ、創作することを体験する。

実施時間

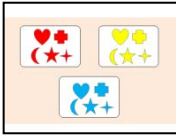
60分

対象学年

小学校4年生～中学生

実施人数

20～30人

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|-----------|---|--|
| 導入 12分 | 1.講師あいさつを行う。 | |
| | 1) プログラム開始のあいさつや担当講師の自己紹介を行う。(2分) | 皆さんこんにちは。私の名前は〇〇です。 普段は●●●●をしています、今日はこのプログラムの講師を担当します。よろしくお願いします。 |
| | ①担当講師の自己紹介や、プログラムの概要の提示などを行い、参加者が緊張せずに楽しんで取り組めるよう働きかける。 | 今日のプログラムはいつもの学校での授業のように教科書を使うことはせずに、グループに分かれてのワークを中心に進めていきます。 緊張せずに楽しんでほしいと思います。 |
| | 2.アイデアを整理したり、分類しながらキャッチフレーズをつくることを伝える。 | |
| | 1) アイディアを整理したり、分類しながらキャッチフレーズをつくることを伝える。(5分) | 今日、初めて会う人もたくさんいますよね。 もしかしたら緊張している人もいるかもしれませんね。 皆さんの緊張をほぐすために、まずちょっとしたクイズをします。 |
| | 準備物 | |
| | ・イラスト①～③ | |
| | ワーク | |
| | ①イラストを5秒見せたあとにイラストを隠し、質問をする。 | 今から5秒間イラストを見せます。5秒ですよ。 よく見てくださいね。 |
| | ・何種類の形があったでしょう？ ・色は何色あったでしょう？ | イラスト①を5秒間提示する |
| |  | はい、おしまい。では、質問しますよ。 今のイラストには何種類の形があったでしょう？ 色は何色ありましたか？ (何人かに聞きながら、本当にそうかな？など伝え、同時に板書をする) |
| | イラスト① | たった5秒だとはっきりとはわからなかったですね。 ですがこれならどうでしょう。 |
| | ②次の2枚のイラストを見せて同じ質問をする。 | イラスト②③を同時に提示する |
| |  | 何種類の形がありますか？(はい、そうですね) 何色がありますか？(はい、そのとおり) 最初のイラストとの違いは、色や形で仲間わけして分類しているかどうかです。 |
| | イラスト② | このように分類されているととてもわかりやすいですね。 たくさんの情報も分類すると、大切なことをはっきりさせたり考えやすくなったりします。 |
| |  | 今日はキャッチフレーズを考える、というワークの中でこの考え方を皆さんにマスターしてもらおうと思っています。 |
| | イラスト③ | さて、「キャッチフレーズを考える」と言いましたがキャッチフレーズってどんなものか知っていますか？ |
| | 2) キャッチフレーズの役割について説明する。(5分) | これを聞いたことがある人はいますか？(企業やアイドルのキャッチフレーズなど、聞き馴染みのあるものを伝える) |
| | ①キャッチフレーズと聞いて思い浮かぶものを自由に発言させる。 | 一度聞いたら忘れられない、それに興味をもってしまふ、イメージできるなど、それがキャッチフレーズです。 ちなみにわたしのキャッチフレーズは、「〇〇〇〇の(講師名)」です！ (講師の自己PRキャッチフレーズを伝えてください) |
| | ②キャッチフレーズの役割について説明する。 ※イメージがしやすいように、キャッチフレーズの書かれた広告などを持参すると良い | |

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|-----------|---|---|
| 展開 46分 | 3.グループで考え方を広げ、整理し、絞りこみ、創作することを体験する。 | |
| | <p>1) ○○(テーマ)のキャッチフレーズをつくることを提示し、協働で意見をまとめるための手法にチャレンジすることを伝える。(46分)</p> <div data-bbox="233 427 775 651"> <p>テーマは自由に設定してください。 <例>・学校のキャッチフレーズ ・自分の住む町のキャッチフレーズ ・所属するクラブチームのキャッチフレーズ ・市の公式マスコットキャラクターのキャッチフレーズ など</p> </div> <div data-bbox="188 689 379 723"> 準備物 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・A3用紙(白紙) (1グループ×2枚) ・付箋(2×7センチサイズ/1グループ×1束) ・カラーマーカー(1グループ×2～3本) ・キャッチフレーズ記入用ワークシート(1人2枚) ・テーマに関連する参考資料(必要に応じて) ・投票用カラーマグネット(1人1個) ・ワークシート黒板貼り付け時用マグネット (参加者の人数分) <div data-bbox="188 1037 387 1070"> ワーク </div> <p>① 4～5人のグループでリーダーを決める。 ※講師は、そのグループで一番学年が上の参加者を指名するなど、時間をかけずにリーダーを決定するよう促す。</p> <p>② キャッチフレーズを考える前に、テーマについてアピールできる要素を、できるだけ多く考えさせ、個人で付箋1枚につき1つ記入させる。(3分)</p> <div data-bbox="233 1339 794 1529"> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のキャッチフレーズを考えるときは、学校についてアピールできる要素(行事、遊具、名物先生、特色のある活動、クラブ活動など) ・町のキャッチフレーズを考えるときは、町についてアピールできる要素(特産物、地形、歴史的要素など)を考えさせます。 </div> <p>③ グループでA3用紙にメンバーが書いた付箋を貼り付けさせる。(1分)</p> <p>④ 講師が、貼られた情報を整理する方法にはどんな方法があるかを問いかけ、数人の発言を促す。(1分)</p> <p>⑤ 【グループ】KJ法を用いて、A3用紙に貼り付けられた付箋の情報を、同じものや関連するもの同士で分類させる。(5分)</p> | <p>では、これから皆さんと○○のキャッチフレーズを考えていきたいと思います。 (ここでは「市の公式マスコットキャラクターのキャッチフレーズを考える」ことを例にシナリオを記載いたします)</p> <p>皆さん、このキャラクターを知っていますか?</p> <div data-bbox="820 539 1484 584"> 市のマスコットキャラクターのイラストを提示する </div> <p>そうです、皆さんの市の公式マスコットキャラクター「△△△」です。見たことがありますか? このキャラクターは○○市について多くの人に知ってもらったり、市民の皆さんには○○市をもっと好きになってもらうためにつくられたキャラクターです。</p> <p>※キャラクターの名称の由来、キャラクターに込められた要素などを説明する。(市のWebサイト等で確認する)</p> <p>○○市では皆さんもおなじみのキャラクターになってきましたが、市外、県外の人にもっとキャラクターを知ってもらい、それとともに○○市をアピールしたいと思っています。そこで、多くの人が覚えられて、市やキャラクターの魅力を伝えられるキャッチフレーズをつけてください。</p> <p>では、ワークを始めます。 1番学年が上の方がグループのリーダーになってくださいね。</p> <div data-bbox="820 1133 1484 1178"> A3用紙と付箋、カラーマーカー、ワークシートを配付する </div> <p>いきなりキャラクターのキャッチフレーズを考えるのではなく、まず、このキャラクターのアピールできること(=ひいては○○市がアピールできること)を考えましょう。 たとえば見た目(色が赤い、目がかわいいなど)でいいなと思うことなど、気づいたことを1枚の付箋に1つ書き込んでください。1人5つ以上、たくさん出せると、そのあとのキャッチフレーズを考えるときに役立ちますよ。 では、始めましょう。</p> <div data-bbox="820 1424 1484 1469"> 付箋1枚に1つアピール要素を記入させる </div> <p>皆さん、どうでしたか。 では、書いた付箋をA3の用紙にすべて貼り付けましょう。</p> <div data-bbox="820 1559 1484 1603"> A3用紙にグループメンバー全員の付箋を貼り付けさせる </div> <p>たくさん貼り付けられていますね。 もしかしら同じことを書いているものもあるかもしれません。ではこの情報を整理するにはどうしたらいいと思いますか?(数人に発言をうながす)</p> <p>そうですね。同じ内容や共通する内容をまとめると、たくさんの情報を整理ができますね。</p> <p>では、グループで貼り付けた付箋を整理してみましょう。 新しいA3の用紙に、リーダーが中心となって、同じものや似ているものを5分で仲間に分けてみましょう。</p> <div data-bbox="820 1951 1484 1995"> グループで情報を分類させる </div> |

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|----|--|---|
| | ⑥どのような分類ができたか、いくつかのグループに共有させる。 (5分) | 今のワークで情報の分類ができました。 では、分類した仲間一つ一つに、名前を付けてみましょう。 時間は5分です。 |
| | | グルーピングしたものに名前をつけさせる |
| | | 情報の整理ができたでしょうか。分類して、できた仲間にどんな名前を付けたのかいくつかのグループに発表してもらいましょう。 |
| | | 情報分類した結果を板書をしながら全体共有させる |
| | ⑦【グループ】グルーピングしたものの中から、もっとも訴求したいものを一つ絞り込ませる。 (3分) | いろいろなアピールポイントが出ていますね。 ではグループで、仲間わけしたものの中からもっともアピールしたいものを一つ3分で話し合って決めてください。 |
| | | グループで最もアピールしたいことを1つに決めさせる |
| | ⑧【個人】情報をもとに、テーマに対するキャッチフレーズを考えさせ、ワークシートに記入させる。 (5分) ※ワークシートは縦書き・横書きなど自由に書いてよいことを伝える。 | 決まったでしょうか。 ここからは個人のワークです。 そのアピールポイントを使って、キャラクターのキャッチフレーズを考えましょう。聞いたらすぐにキャラクターのことを思い出して、忘れないような素敵なキャッチフレーズを考えてくださいね。 時間は5分です。 |
| | | キャッチフレーズを考え、ワークシートに記入させる |
| | ⑨【グループ】個人で考えたキャッチフレーズをグループで共有させる。 (6分) | 考えたキャッチフレーズをグループで報告しあいましょう。 そして、メンバーのつくったキャッチフレーズを見て、自分のキャッチフレーズをもっと魅力的なものにしてください。 |
| | ⑩自分のキャッチフレーズを再考させ、ワークシートにキャッチフレーズと、そのキャッチフレーズで特に伝えたいことは何かを記入させる。 (6分) ※キャッチフレーズを再考した場合は、新しいワークシートに記入するよう伝え、配付する。 | もう一度考えなおしたキャッチフレーズは新しいワークシートに書いてください。 (不要であれば1枚目に追加させる) |
| | ⑪全員のキャッチフレーズを黒板やホワイトボードなどに貼り付けさせ、確認後、もっとも良いと思うものに投票用カラーマグネットをつけさせる。 (10分) ※時間がある場合は、全員にキャッチフレーズと理由を発表させてもよい。 | 書けたら、「このキャッチフレーズでもっともアピールしたいこと・なぜこのキャッチフレーズにしたのかを書こう」の欄に理由も書いてくださいね。時間は5分です。 |
| | | では、5分たったので、完成したものを黒板に貼りだしましょう。 できあがっていない人は、できているところまででかまいませんよ。 |
| | | 再考したキャッチフレーズを記入させ、黒板に貼りださせる |
| | ※発表後、そのテーマに関わる専門家(校長先生や市職員など)より講評をいただけると子どもたちの意欲が高まります。 (全グループ良い点を褒めるようにすること) | では、一緒にキャッチフレーズを見てみましょう。 どれも魅力的なものができていますね。さて、1人1個カラーマグネットを持っているでしょうか。これはいいと思うキャッチフレーズの上にマグネットをつけましょう。 では、決めてください。 |
| | | マグネットがたくさんついているキャッチフレーズはコレとコレですね。では、このキャッチフレーズにした理由を発表してもらいましょう。 (発表に対しては相槌を打ったり簡単なコメントをする。) |
| | | 発表ありがとうございました。拍手～。 たくさんの魅力的なキャッチフレーズが出ましたね。 この中のどれかが本当に採用されるといいですね。 ※マグネットがつかなかった児童・生徒へのフォローも行う (短時間でアイデアが出せがことを褒め称えるなど) |

| 時間 | 進行・ポイント等 | トークシナリオ(例) |
|-------|--|---|
| まとめ2分 | 4.考え方を広げ、整理し、絞りこむ活動は日常生活でも役立てることができることを確認する。 | |
| | 1) ワークをふりかえり、付箋に書き出したアイデアを整理してまとめる活動は日常生活でも役立てることができることを伝える。 | <p>今日皆さんに体験してもらったように、それぞれが意見を言うだけでなく、付箋などに書いて整理したり、タイトルをつけて分類したりすることで、一見ばらばらに見えるたくさんの意見を、みんなで協力して絞っていくことができます。</p> <p>今回皆さんが体験した方法を、学級や委員会活動での話し合いなど、たくさんのアイデアを1つに絞るときにはぜひ試してみてください。</p> <p>今日のプログラムはこれで終わりです。 ありがとうございました。</p> |

活動におけるワンポイントアドバイス

1

馴染みのあるキャッチフレーズを提示してみましょう。

- ・キャッチフレーズとはどのようなものかをイメージできない参加者のため、企業やアイドルなど馴染みのあるキャッチフレーズを、参加者にいくつか発表させましょう。その際には講師がヒントを出してもよいでしょう。

2

理解に合わせて、アナウンスをしましょう。

- ・付箋の使い方など、ワークを理解できていない参加者がいる可能性があります。「1枚につき記入する言葉は1つだけだよ」など、言い方を変えてメリハリをつけたアナウンスをしましょう。

3

イメージのしやすい投げかけをしましょう。

- ・付箋に言葉を記入できずにいる参加者がいた場合には「キャラクターのアピールしたいこと」「地域の好きなところ」「商品の優れた特徴」などのように、具体的に記入する事柄を例示してみましょう。

4

例を用いて全体への説明を試みましょう。

- ・分類ワークが進まないグループは、ワーク内容を理解していない可能性があるので、参加者が付箋に書いている情報を例に出して、講師が分類の作業を黒板などで、全体に示しましょう。